金山町 議会だより

第235号
令和８年11月12日
発行　金山町議会
編集　議会だより編集特別委員会
〒968-0011
福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393
☎０２４１－５４－５３４１

〔９月定例会　９月11日～16日〕

・令和７年度決算認定・決算審議・補正予算……２～６
・人事・議案等審議結果一覧……７
・一般質問　６人が登壇……８～14
・正・副議長決まる……15

奥会津ごっつおまつり　かぼまるじゃんけん大会
（10月24日・25日開催）

9月定例会

9月定例会は9月11日から16日にかけて開催され、令和7年度決算認定や一般会計補正予算、条例改正、人事など9議案と、報告2件が提案され、原案の通り認定・可決・同意されました。
一般質問は、6人の議員により行われました。

令和7年度一般会計決算

歳入 40億2,816万円
歳出 38億7,195万円 を認定



令和7年度決算認定採択

令和7年度　会計別決算額

会計名		歳入	歳出
一般会計		40億2,816万円	38億7,195万円
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	2億8,266万円	2億6,060万円
	国民健康保険（施設勘定）	1億5,677万円	1億5,677万円
	介護保険	6億1,693万円	5億6,160万円
	後期高齢者医療	5,258万円	5,252万円
簡易水道事業会計	収益的収支	1億8,070万円	1億8,413万円
	資本的収支	1億2,020万円	1億0,834万円
下水道事業会計	収益的収支	1億5,626万円	1億5,631万円
	資本的収支	4,929万円	5,654万円

財政健全化比率（町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためもの）

財政は健全と判断（比率が健全化判断基準内）

指標名	比率	健全化判断基準	指標の説明
実質赤字比率	—	15.0%	一般会計の赤字の大きさを町の財政規模に対する割合で示したもの。黒字決算であり数値がありません。
連結実質赤字比率	—	20.0%	一般会計と特別会計の全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したもの。黒字決算であり数値がありません。
実質公債費比率	5.1%	25.0%	借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを町の財政規模に対する割合で表したもの。町は良好な状態であります。
将来負担比率	—	350.0%	借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、町の財政規模に対する割合で表したもの。負担が無いため「—」で表示。

●決算審議　質疑

令和7年度予算に基づいて執行した事業などの結果について質疑を行いました。

一般会計：歳入

不納欠損

問　固定資産税不納欠損額51万円。内訳と相続放棄等、今後増える可能性がある中での対応は。

答　**住民課長**　相続放棄、処分停止経過等による不納欠損該当要件があり、今後も発生する可能性は否定できない。今後も県の滞納整理機構と連携し、個々の案件について相談し対応していく。

受託事業収入

問　会津川口駅窓口での乗車券類発売受託収入412万2千円。何件分か。

答　**企画課長**　販売件数1万433件です。

川口高校学生寮運営負担金

問　負担金1，155万円。県寮（学校寮）、町寮（若桐寮）の県からの支出金の算定基準は。

答　**教育次長**　県と町との共同運営。入寮生の人数により運営費を按分。県費対応は会津地域出身の寮生で27％。町費対応はそれ以外の寮生で73％。

一般会計：歳出

国土調査費

問　調査費330万円。調査内容と終了時期について。

答　**農林課長**　上横田第4地区。面積17ｈａ、筆数608筆。関係地権者89名について調査中。令和10年度終了見込み。

公式LINE

問　登録者数について。

答　**企画課長**　令和6年度末339人。令和7年度末545人。206人の増。

地域おこし協力隊

問　報酬3名分744万円。町として最大の受け入れ人数と呼び込み方法は。

答　**企画課長**　令和7年度は5名。町ホームページ、募集イベント参加、募集サイト等で募集している。

赤カボチャ出荷規格検査

問　合格率の町の目標と実績は。

答　**農林課長**　町総合戦略では77％の合格率を掲げている。実績は1万5，584個検査し合格率は61．56％。

問　不合格品の取り扱いは。

答　**農林課長**　現時点では生産者各自の対応となっている。

問　不合格品について町での全量買取りなどの考えはないか。

答　**農林課長**　現状は合格率を上げ良いものを作ることで価値を高め採算性が取れるような方向性で進めていきたい。



生産者任せの不合格赤カボチャ

有害鳥獣捕獲隊員

問　報酬116万円。捕獲数もかなり増えたと思うが、捕獲隊員の人員は十分だったのか。

答　**農林課長**　捕獲隊6名分。捕獲数72頭。捕獲活動に影響はなく十分であったと認識している。

空き家等対策

問　空き家等対策協議会委員報酬1万7千円。空き家軒数。うち危険空き家、優良空き家、中間空き家の軒数は。

答　**企画課長**　令和6年度調査では、空き家数約300軒。外観調査で5段階に評価。E（危険）7軒。D（大規模損傷）7軒、C（小規模損傷）27軒、B（良）61軒、それ以外はA（良好）と把握している。

問　空き家の中の良好な物件の利用について。

答　**企画課長**　民間の方に活用いただき、それに対し町が支援する考えで進んでいる。



A（良好）な空き家

農業振興報償費

問　エゴマ作付け奨励金61万円。酒米作付け奨励金54万円。対象人数は。

答　**農林課長**　エゴマは8件。酒米は1件。

合併70周年記念事業

問　記念ウォーク事業58万9千円。参加者70名。次年度は計画されなかったのか。

答　**商工観光課長**　令和8年度は教育委員会で春に町内でウォーキングを実施し、新たに春のごっつおまつりを実施した。

国保会計施設勘定操出金

問　操出金7，876万円。決算審査意見書で「繰入金が毎年多額になっている。人口減少などにより診療収入が毎年減少している。今後、診療体制の見直しを含め、町内で唯一の医療機関である国保診療所の効率的な運営のあり方を検討していただきたい。」とあるが答弁を。

答　**副町長**　勤務医師、診療所の建物など総合的に考えて、今後の医療体制の在り方について次期体制で考え頂くのがベストと考えます。

こんなことがありました。
お忘れではありませんか



令和７年度に実施した事業を載せてみました。

町道中川・大栗山線（中川工区）



約25年の歳月を掛け旧栗団地まで完成。
平成21年度より福島県の代行事業で整備完成
延長約2,200m、橋梁３橋

川口高校みらい留学Ｐ事業（継続）



県立川口高校の生徒確保や学校の魅力向上を実践。地域に根差した探求学習や、地域での活動を展開

合併70周年記念式典



沼沢・川口・本名・横田の４カ村が合併。
人口9,600人から1,700人への町へ。
（11月８日本名：御神楽館での式典の様子）

子供が集える公園整備事業（継続）



令和２年５月町への要望。「子どもが安心して遊べる「遊び場」の設置」の実施（今年８月撮影）
令和８年に事業が全て完了。

合併70周年記念関連イベント



６月開催の町民ウォーキング in 大塩（写真）
他に羽生市鴻巣市を巡る友好都市ツアー、70年の歩み事業、記念品など

敬老会事業（継続）



385万円

９月敬老の日に町民体育館（中川地区）で行なわれ、75 歳以上対象者の約 200 名の方が参加した。

急傾斜地崩落防止対策事業（継続）



140万円

斜面崩壊（がけ崩れ）から住民の生命を守る。
危険区域内の擁壁工、法枠工を行う。県事業で町が負担金を支出（玉梨地区）

かねやま小学校校舎改修事業（新規）



3,777万円

横田小学校・金山小学校が統合（４月１日）。
新たに児童34名でかねやま小学校が開校。
新たなランチルームで楽しい給食を。

地域おこし協力隊受入事業（継続）



1,277万円

４名の隊員が活動を行った。
(8.11.1現在）隊員３名。経験者16名中11名が町内に定住している。

台湾プロモーション事業（継続）



992万円

１月下旬に金山區と台北周辺で「あいせき列車只見線」、町の映像放映のPR、町名産の振舞い等、福島県と近隣町村との合同開催。

田沢集会所建築事業



4,694万円

令和６年10月、類焼により全焼。
建築財源は損害保険金及び辺地債。
令和８年度外構工事を実施し完成予定。

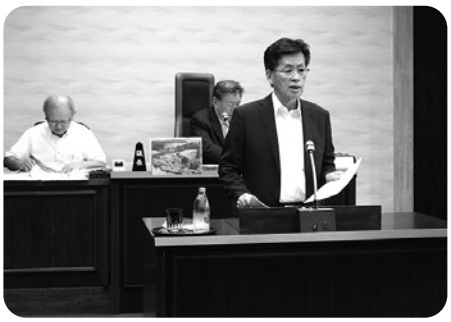
令和7年度決算審査意見

8月5日から7日まで3日間行われた、決算審査における監査委員の意見をお知らせいたします。

金山町代表監査委員　長谷川一夫
金山町監査委員　安藤　雅朗

① 事業の目的が十分達成されるよう、「適切な予算見積り」に努め「速やかな事業実施」及び適切な事務処理に心がけてください。限られた財源を有効活用し「住民福祉の向上」につなげられるよう取り組んでいただきたい。

② 町の主要財源である、町税及び使用料等の徴収に努力されていることを評価いたしますが特定の方が長年にわたり滞納されています。税の公平公正の観点から町全体の問題として捉え、収納対策に取り組んでいただきたい。


意見を述べる長谷川代表監査委員

③ 補助金交付においてはその事業の目的に沿って、補助金が最大限活かされるよう現状に即した視点で適正な執行をしてください。今後は令和6年7月作成の「補助金適正化ガイドライン」に則り進めていただきたい。

④ 特別会計・公営企業会計への一般会計からの繰出金等が毎年多額になっています。その中で、運営費繰入額も毎年増加している会計があります。町全体の問題として捉え、事業内容、料金改定の見直しを視野に入れ繰入額の抑制に努めていただきたい。

⑤ 最後に、町民に基礎的行政サービスを提供する「町職員」は地域住民の暮らしに密着した業務を行っており、高齢化の著しい本町においては頼られている存在であります。職員一人ひとりが健康に留意しながら「住民福祉の向上」のため一層の行政運営に努めていただきたい。


決算審査講評
係長以上出席のもと、講評を伝える長谷川代表監査委員


事業説明を聞く監査委員

●補正予算（議案審議）

一般会計・歳出

灯油購入助成事業

問 扶助費300万円。300世帯に1万円。一般家での冬期間の灯油使用量300ℓ、全国平均価格125円程度。算出根拠について伺う。

答 **町長**　予算編成時点と中東情勢が変わってきた。灯油購入助成については、時間的余裕もあり対処していく。
※10月9日の第6回臨時会で1世帯5，000円の補正予算が可決され、住民税非課税世帯への扶助額は1万5千円となった。

妖精美術館

問 修繕料130万円。施設が30年以上経っている。色々なことを含め美術館の在り方を考える時期では。

答 **商工観光課長**　ここと宇都宮市の国内に2ヶ所しかない妖精専門の美術館である。現状の雰囲気、建物を維持修繕しながら進めていく考え。

こども・子育て支援事業計画策定委員会

問 報償費1万2千円。想定している構成委員、役職等は。

答 **保健福祉課長**　現在想定しているのは、教育長、小中学校の校長、保育所長、教育委員会事務局、主任児童委員2名となる。

問 指針を見ると幅広く意見を聴取する記載もあり、是非保育所の児童の代表の方や、小学校PTA会長等呼ばれてはいかがか。

答 **保健福祉課長**　子育て支援の体制を整えるための行政計画であり、既に保護者や関係者についてはアンケートを取り幅広く意見を頂いている。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
※賛成「○」　反対「×」

件　　名	議決結果	大竹一樹	安藤雅朗	加藤夕子	坂内譲	栗城康太郎	横田正敏	五ノ井義一
■第５回定例会（９月定例会）　令和８年９月１１日～１６日開催								
令和７年度金山町一般会計及び特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません
令和７年度金山町簡易水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	
令和７年度金山町下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	
令和８年度金山町一般会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	
金山町教育委員会委員の任命に関する同意について	同意	無記名投票により採決（賛成６票：反対０票）						
人権擁護委員の候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	
■報　告								
株式会社会津金山かねやま経営状況報告について								

■人　事

◇金山町教育委員会委員の任命に同意しました。

小沼　優（川口・再任）

任期は10月1日から4年間。

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

星　俊子（板下・再任）

渡部一弘（田沢・新任）

目黒隆明（本名・再任）

任期は令和9年1月1日から3年間。

（推薦された候補者は、町長が法務大臣に推薦し、法務大臣が委嘱します。）



議員との懇談会
「おらほの議員としゃべってみませんかの会」開催しませんか

金山町議会議員は、１０月の補欠選挙（欠員３）により、２名の新議員が当選しました。
７名（欠員１名）の議員の当選回数も１～２回と少なく、議員の平均年齢も５２歳と以前より「フレッシュ」な議会となっています。
そこで
- 高齢化率の高い町での町づくり、地域づくり
- 若者が少ない町での町づくり、地域づくり
- 持続な可能な町づくり、地域づくり
- 日頃考えている提案、アイデア　などについて

皆さまからのご意見、ご要望をお聞きするため、議員が出向いての「おらほの議員としゃべってみませんかの会」の開催を計画いたしました。開催を希望される地区・事業所・団体等の担当者の方は、**金山町議会事務局（tel 54-5341　fax 54-5345）までご連絡願います。**

一般質問 ― 金山町のここが聞きたい ―

氏名（登壇順）	質問事項
1　栗城　康太郎（９ページ）	・第五次金山町総合計画について ・金山町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画について
2　安藤　雅朗（１０ページ）	・持続可能な町政運営に向けて
3　坂内　譲（１１ページ）	・金山町教育委員会における学校教育のグランドデザインと第５次生涯学習について、そして、教育施設の活用について
4　加藤　夕子（１２ページ）	・庁舎内における労働衛生環境の改善および次期体制への引き継ぎについて
5　横田　正敏（１３ページ）	・只見川流域における安全対策について
6　大竹　一樹（１４ページ）	・次期町政に繋げたい押部町長の施策は

○一般質問とは…各議員が本会議で町の一般事務や町の将来に対する方針などについて質問することで、「一問一答方式」により行います。
質問者一人につき、答弁の時間も含め５０分以内としております。

議会会議録・一般質問動画（録画）町公式ホームページ掲載のお知らせ

↑会議録はこちらから　↑動画配信はこちらから

議会会議録について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。
ホームページには全文記載されています。是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

暮らしの情報＞　金山町議会＞　目次　議会会議録　令和８年議会会議録

一般質問の動画配信（録画）について

各議員（質問者）ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は５０分です。本会議での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

暮らしの情報＞　金山町議会＞　目次　議会動画配信　令和８年一般質問

栗城康太郎（くりき こうたろう）議員の一般質問



第五次金山町総合計画について

着実に前進できるように取り組む ― 町長

問①　本年3月に第五次金山町総合計画後期計画が策定されたが、今季限りでの退任にあたり前期計画をどの様に総括・評価し、後期計画の実現を目指す次期執行部に引き継ごうとされているか、行政の継続性の観点から伺う。

答　町長　この8年間では新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策など、全国的な課題に対応する期間が長く続いた時もありました。

町総合計画基本構想で掲げた5つの目標に向けて、前期計画に記載された重点プロジェクトに取り組んできました。

産業の面では、農業用機械購入補助や特定地域づくり事業協同組合支援事業、おもてなし事業などを実施し、保健・福祉・医療の面では、人間ドック助成期間の短縮、エアコン整備事業、買い物弱者対策としての宅配事業、新型コロナウイルス感染症流行時にインフルエンザ予防接種の無料化を実施し、流行後も接種負担軽減を行ってきました。

教育・文化の面では「学びの18年」として経済的支援を行い、より良い教育環境を整えるため、小学校の統合を実施しました。また、現在、子どもの遊び場として農村公園整備事業や土器・民具の保存活用事業にも取り組んでいます。

防災・生活環境の面では、町防災マップの作成や自主防災組織活動支援事業を実施し、社会インフラ整備として町道や橋梁の計画的な修繕・点検を行い、高齢化が進む当町の実情から除雪支援員の設置も行いました。

また、環境面では生ごみの減量化や省エネ家電への買い替え支援などを行っています。

自治・行政の面では、集落維持活動支援事業を立上げ、集落の協働作業の支援をするとともに、各地区からの陳情には可能な限り対応してきました。また、地域コミュニティ活動応援事業などを設け、地域や団体の自主的活動へ支援できる体制づくりに努めてきました。

私は、町総合計画で掲げた目標達成に向け、各種事業に取り組んできましたが、その総括・評価として事業効果が物足りない部分もあり完全なものとは考えていませんが、町を取り巻く厳しい環境の中でも、事業を執行した結果、一定の成果や道筋が得られたのではないかと考えています。

今後、新しい体制になられても、町総合計画基本構想や後期基本計画を踏まえ、住民サービスがより一層向上できるよう、努めていただきたいと思います。

問　重点プロジェクトの計画と共にその終了、何年度までにこうするんだという詳しいタイムスケジュールは共有されているのか。

答　町長　期限を区切り取り組むのではなく、社会情勢、財政状況を見ながら取り組む必要がある。その年、次の年、その次の年に向けて着実に前進できるような事業計画、実施計画を取り組んで来たのが現状です。

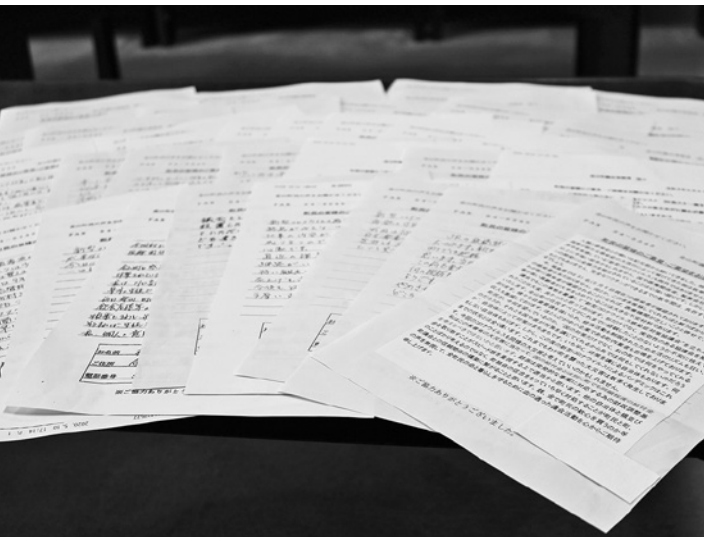
問　NHKの番組に「プロジェクトX」があります。プロジェクトチームの体制は。

答　町長　重点プロジェクトを掲げた中での、それぞれのプロジェクトチームを組んで推進したことはありませんが、担当課等を中心として行いつつ、課長会などで連携を図っています。

議員のひと言

大きな事業を成し遂げる時には、リーダーシップを発揮できる人材が必要。

栗城議員からは、この他に「金山町における女性職員活躍の推進に関する特定事業主行動計画について」の質問がありました。



令和2年5月新型コロナウイルス感染症対策で議会に寄せられた町民からのご意見・ご要望を受け、町へ要望書を提出しました

安藤雅朗（あんどう まさあき）議員の一般質問



持続可能な町政運営にむけて

「町民の絆」を大事に―町長

平成30年の就任以来、2期8年間にわたり町政を担ってこられた。人口減少が進む中での金山町の、現在地と次期町政に引き継ぐべき課題について伺う。

問①　押部町長の任期中の総括と成果、道半ばとなった課題、地域機能の維持について伺う。

答　町長　コロナ対策等に追われる中、介護予防、有害鳥獣対策・営農支援、観光ＰＲ、移住支援（社会増減プラス23人達成）など一定の成果を上げた。一方、産業の担い手不足や出生数の伸び悩みが課題である。各種施策により現時点で地域機能は維持できている。

問②　特に評価する施策と心残りの施策は何か。人口減少を見据え、事業の費用対効果を検証し、「続ける・見直す・やめる」整理を行う必要性をどう考えるか。

答　町長　福祉・保健施策は住民の安心安全に寄与したと評価するが、宿泊施設不足や農林業の充実に心残りがある。施策の絞り込みや継続の判断は次期執行体制に委ねたいが、何より「人財」の確保が要となる。

問③　高齢化により地区任せでは共同作業や除雪の継続が困難になっているが、どう対応するか。

答　町長　転出者の帰郷協力や大学との連携、除雪ボランティア募集など、観光・応援を絡めた関係人口によるモデル事業が有効と考える。地区内の支え合いの再構築と移住促進を並行して進める必要がある。

問④　事業者の減少や休業は生活基盤の危機である。従来の枠を超えた行政の関与をどう考えるか。

答　町長　従来の行政サービスのやり方では町民生活は守れない。他自治体の事例も踏まえ、拠点ごとに町が関わり、公設民営方式なども含めて日常生活機能を守る支援が必要と考えている。

問⑤　公共施設の現行規模での維持は困難であり、住民を納得させる責任を果たしつつ優先順位をつけるべきだが、どう整理するか。

答　町長　老朽化や利用状況を精査し、解体・改修・集約新築の費用を比較検討しながら進めるべきである。過去の改修見送りの反省も踏まえ、長期的視点で住民・議会と協議し最適配置を図る必要がある。

問⑥　職員確保が難しくなる中、業務削減やデジタル化、民間委託など行政の仕事自体の見直しをどう考えるか。

答　町長　単純な定数削減は難しいため、業務の簡素化や外部委託（町内での雇用創出）を進めるべきと考える。庁舎内でのＰＣ作業にとどまらず、職員が地域へ出向いて実情を把握する「町民と関わる組織」への変革が重要である。

問⑦　長年行政に携わった町長だからこそ見える大切なもの、引き継ぎたい思いは何か。

答　町長　何より「町民の絆」を大事にしてほしい。新たな視点で町民生活を守る施策の取捨選択や意識の変化を進めていただくことを期待する。

議員のひと言
継往開来。８年の歩みを受け継ぎ、持続可能なまちへ。



㈱JA会津よつば総合サービス金山SS
来年２月で事業縮小予定　店舗が減るのは豪雪地帯の金山では大問題では



古民家改修宿泊施設（玉梨）

坂内（ばんない）　譲議員（ゆずる）の一般質問



教育委員会における学校教育のグランドデザインと第5次生涯学習振興計画についてそして、教育施設の活用について

学校教育・社会教育の充実に取り組んできた―教育長

問①　押部教育長の2年間の総括は。

答　教育長　子どもの「学び」と「成長」を第一に考え、学校現場の状況把握と対話を大切にし、社会教育分野の展開を模索し、教育環境の充実に取り組んで来ました。

第一に、学校の統合を見据えた教育環境の整備です。統合後に全児童と教職員が昼食を摂る「ランチルーム」や、図書室の整備にも努めました。

第二に、学力向上です。子どもの読解力や学力の状況を客観的に把握するため、リーディングスキルテストの活用を進めています。英語に興味を持つきっかけとして、ブリティッシュヒルズへの宿泊学習を復活させました。

第三に、教員の指導力の向上です。

第四に、学校現場を支える人的な体制の整備です。町として必要な人員を補充し、子どもが十分な教育を受けられる教育環境の改善に努めました。

第五に、川口高校の生徒募集です。地域の高校として、地域の特色や資源を生かした学習を行っており、地域の将来を担う人材を育成する重要な役割を担っています。

第六に、住民の学びを育てる教育環境の広がりです。御神楽寄席や天体教室など、地域の文化や自然、科学に触れる機会に、住民が積極的に参加するようになりました。

また、ふくしま駅伝では、中・高校生を中心に参加者が増えるなど、地域の行事やスポーツ活動に主体的に関わる住民が増えています。

問②　「かねやま学びの18年」日本全国どこよりも早く義務教育の無償化等他町村との教育の差別化を図ってきたが、国が無償化を言い始めた。ソフト（教育の内容・質の向上）での施策が必要では。

答　教育長　町では、各種教育に係る経済負担を軽減する事業を全国に先駆けて実施し、生まれてから高校卒業までの18年間の子どもの育ちに連続性を持たせ、子どもを地域で大切に育て、郷土愛を育む教育を実践し、将来ふるさとを支える人材を育成しようと「学びの18年」事業を行ってきました。義務教育分野での経済的な支援では、

①給食・教材費の無料化
②修学旅行費等の支援
③入学準備品の支援

などを実施しています。また教育内容の充実・質の向上に関する事業として、

①学力向上事業として、書道や天体教室・森林学習・夏休み学習塾
②スポーツ講習会事業として、水泳教室・バドミントン教室
③冬季のスポーツ推進事業として、スキー教室、リフト代補助
④中学校への支援として、部活動等支援、各種検定受験料補助事業等を実施しています。教育内容の充実・質の向上に関する事業についても、更なる充実が必要であると考えています。

問③　自然教育村会館、その他の教育関係施設の活用についてのスケジュールは。

答　教育長　旧横田小学校の跡地の利活用については、現在、優先交渉権者が決定して、諸条件の協議を行っている最中です。諸条件の協議が終了し、地元説明会の開催及び基本協定の締結が終了すれば、自然教育村会館の利活用についての方向性やスケジュール案を示す段階になります。



旧横田小学校跡地施設
優先交渉権者が決定
土地建物の利活用について進んでいます

議員のひと言
思いは伝わる。帰りたい町　金山。

加藤夕子（かとうゆうこ）議員の一般質問



庁舎内における労働衛生環境の改善および次期体制への引き継ぎについて

履行すべき重要な義務である―町長

問①　庁舎内における空気環境（湿度・換気）の現状と感染症対策について。
事務所衛生基準規則では、室内の空気を「湿度40％以上70％以下」「二酸化炭素（CO2）濃度1，000ppm以下」に保つよう定められている。

答　町長　これまで事業所衛生基準規則に基づく湿度や二酸化炭素濃度などの定期的な測定は実施していませんでした。

庁舎は、多くの町民の皆様が来庁される場所であり、また職員が業務に従事する重要な拠点であり、良好な室内環境を維持することは極めて重要と認識しています。

現在、一部の部署で加湿器やサーキュレーターを設置し活用しているものの、全庁的な統一が図られていません。来庁される町民の皆様や職員の安全を守る感染症対策について、本格的な冬の到来前の速やかな対応策として、現行予算の範囲内において、加湿器やサーキュレーターの一部増設を進める方向で可能な限りの環境改善に努めてまいります。二酸化炭素モニターの設置など、さらなる環境整備については、庁舎内の状況を見極めつつ、今後の検討課題としております。

問②　議場階（4階）トイレのプライバシー確保と改修について。

答　町長　議場階のトイレは男女兼用であり、入口から女性用トイレが直接目に入る構造であり、女性の利用者が別階のトイレまで移動を余儀なくされている実情については、プライバシー保護の観点、公務や議会傍聴の環境として大きな課題があると認識しています。

十数年前にも同じ問題があり、男性用小便器が直接目に入らないよう移動し、女性用トイレに仕切りを設置し、男女兼用のトイレに改修したほか、1階に多目的トイレを新設した経過があります。

まずは即座の対応として、トイレ付近への分かりやすい掲示などを通じ、各階に設置されている女性専用トイレの位置を的確にご案内するよう、速やかに措置を講じてまいります。併せて、国における事務所衛生基準規則の趣旨も十分認識しており、現在の議場階トイレの改修については、今後、協議して行きたいと考えています。

問　女性職員・女性議員・女性傍聴者にとって心理的・衛生的な障害となり、実質的な利用困難を招いている。議場階（4階）トイレを何とかして欲しい。

答　副町長　今のところに入口を別にして女性用トイレは可能です。

問③　労働環境衛生の改善に向けた次期体制での引き継ぎについて。

答　町長　職員の健康を守る労働衛生管理や、誰もが参画しやすい庁舎環境の整備は、持続可能な行政運営を支える大変重要な土台であり、労働安全衛生法をはじめとする関連法令に基づき、行政が常に適切に履行すべき重要な義務であると認識しております。

問　認識はしていても、衛生基準を下回る環境で職員さんたちを働かせてしまったという認識はありますか。

答　町長　法令に基づいた職場環境つくりはしなければならないが、目配り、心配り、気遣いが足りなかったかと感じています。

議員のひと言
職員の健康維持・感染症対策を図る過乾燥対策を。



役場４階議場階男女兼用トイレ
女性議員２名、女性の傍聴者もいます
早期の対応が必要です



横田正敏（よこた まさとし）議員の一般質問

只見川流域における安全対策について

堆砂処理は十分ではない ― 町長

問①　ここ数年東北電力、電源開発両社とも浚渫量は変わらない。洪水対策情報連絡協議会、滝調整池堆砂対策連絡協議会の目的からして抜本的な堆砂対策の強力な申し入れが必要ではないか。

答　町長　毎年電気事業者が実施する堆砂処理は十分な量ではないと考えています。事業者と会う度にダム建設時の使命感を持って万難を排し浚渫事業への取り組みを再三申し上げてきました。これからも機会ある度に、強力に申し入れていきます。

問②　抜本的な対策として流域治水（源流から河口）を目指し、総合土砂管理の策定が急務であると考えるが。

答　町長　流域治水を目指すため、総合土砂管理の計画は大変重要な計画であると認識しています。阿賀野川水系流域治水協議会では８回に亘り協議を重ね、流域治水プロジェクト２・０に取り組んでいますが、堆砂処理については深く踏み込んでいないと感じています。

問③　持続的な対応を目指すために、ダム浚渫土砂の有効活用を各地の事例を参考に実施・研究する必要があると考えるが。

答　町長　浚渫事業が進まない要因の一つが土砂置き場の確保が困難であることが考えられます。少しでも浚渫土砂を有効に利用できれば、その分、浚渫事業が進められるので、各電気事業者は浚渫土砂の有効利用を研究していると聞いています。

問④　近年の線状降水帯や局地的大雨の多発を受けて、住民が迅速に行動できるよう的確な避難指示のタイミングと日頃の備えについての考えは。

答　町長　避難指示の発令にあたっては、災害が発生してからでは遅いという原則のもと、空振りを恐れず、時間的余裕を持った段階で発令することを基本方針としています。特に高齢者や障がい者の方など、移動に時間を要する「高齢者等避難」については、夜間や大雨のピークを迎える前の明るい時間帯に発令するよう努めてまいります。

行政による「公助」には限界があり、自らの命は自らが守る「自助」、そして地域で助け合う「共助」の考え方が重要であると考えます。

日頃の備えとして、住民の皆様には、ハザードマップを活用して「自宅や職場がどのようなリスクにさらされているか」を事前に確認し、個人の避難行動を想定しておくことが、迅速な行動への最も有効な備えであると考えております。また、非常用持ち出し袋の点検についてもあらゆる機会を通じて啓発をしてまいります。

問⑤　押部町長は、両協議会において、堆砂処理の重要性と堆砂量増の要望やダム改修などについて、積極的な意見を申し述べられてきたが、「只見川流域における安全対策について」どのような見解か伺う。

答　町長　これまでも只見川流域の安全対策について、関係機関に強く要望してきました。この姿勢を崩さず、只見川流域に生きる者として強く安全対策を求め続けるべきと考えます。

今後も、河川整備事業の進捗を注視し早期完了を要望しつつ、電気事業者に堆砂処理を強く要望し、新たな災害が甚大とならないように備えることが重要です。引き続き、防災施設の整備や管理を要望して行くことはもちろん、町民の安全確保について、町独自に様々な事業に取り組んでいく必要があると考えています。

議員のひと言

ダムがある限り只見川流域の安全対策に終わりはない。



只見川河川整備事業（大塩地内中西部地区）
河川断面を広くする岩盤掘削工事
総掘削量55万㎥（うち、掘削済15万㎥）



大竹一樹（おおたけかずき）議員の一般質問

次期町政に繋げたい押部町長の施策は

より一層の住民サービス向上を―町長

押部町長の任期中に策定された総合計画は町政の指針として残り続けます。

定められた成果指標を達成し、それらを町民が実感できる形に結びつけるための取り組みや考え方について伺います。

問①　計画策定の指標のひとつである住民満足度を計るアンケートの回収率15．9％という数字についてどのように感じましたか。

答　町長　対象者1，625人、回収数259人、ここから二つの課題が見えてきました。

一つは実施方法です。紙で全世帯に1セット配布し、残りはグーグルフォーム等での回答をお願いしましたが、極めて少なく、結果として低い回収率となりました。今後は負担軽減を考慮しつつ、回収率の向上につながる工夫が必要と考えています。

二つ目はアンケート結果の分析です。「住民参画・協働」について重要と考える方の割合が低いことや50歳未満の年代の回答が少ないことが分かりました。今後は住民参画に関心が高まる取り組みが必要だと感じています。

問　若い世代は仕事、育児など日常の業務が多くゆっくり回答できない方が多かったのではないかと思います。回答者に商品券を配布する等、答えたくなるような仕組み作りが必要ではないでしょうか。

答　企画課長　可能な範囲でどのように回収率を上げていくのか考えていきたいと思います。

問　グーグルフォームでの回答は22件ときわめて少数でした。IT技術を駆使することで町民生活の向上や行政事務の負担軽減などにつながると思います。積極的に進めていっていただきたいですが。

答　企画課長　アンケートも紙の集計ですと数週間かかるところ、すべてグーグルフォームなら1時間もかからずできたかもしれません。無理のない範囲で普及できるようにと考えています。

問②　重点プロジェクトや成果指標の中で、特に改善が必要であると感じている分野は。また、それらをどのようなプロセスで改善していくべきと考えていますか。

答　町長　アンケートでは、農林業分野や雇用の満足度が、目標の達成度では出生数や婚姻組数の達成度が低い結果となっています。現状の把握と分析を進め、事業の優先順位を設定し改善案を作成、実行していくことが大切だと思います。

問　町の課題解決のために、子育て支援は子育て世代、観光や農業は関係事業者などに、形式的な会議だけでなく、職員が地域に出て話を聞く姿勢を浸透させていっていただきたいですが。

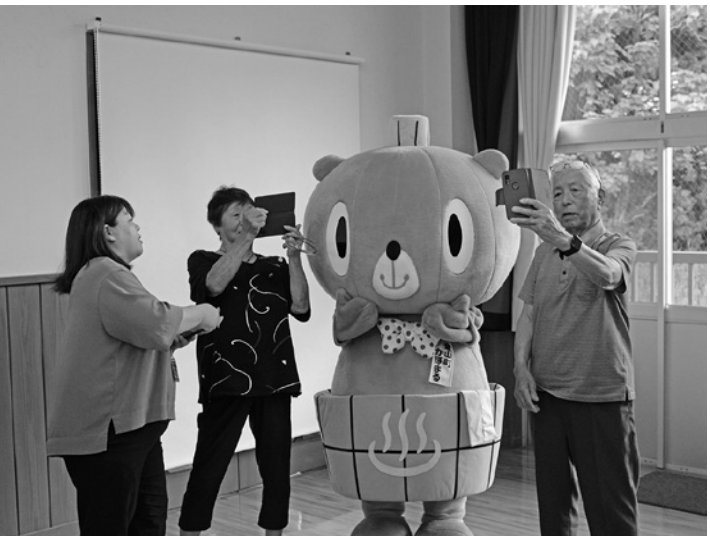
答　町長　普段からお互いの立場を理解しながら前向きに進めていくための情報交換の場は大事だと思っています。課長たちもそういった姿勢で取り組んでくれると思います。

問③　最後に、押部町長がリーダーとして大切にしてきた考え方をお聞かせください。

答　町長　常に相手の気持ちを汲みながら、支え合いといった絆を大事にしながら、議会はもちろん、町民に対しても謙虚な姿勢でやっていくということが大切ではないかと思っています。

議員のひと言

押部町長の思いを胸に！よりよい町にしましょう



町民向けのスマートフォン操作教室
インターネットが使えると、生活が大変便利になります
写真は自撮りの実践風景

議長に横田正敏氏
副議長に安藤雅朗氏

10月4日の金山町議会補欠選挙（欠員3名）により2名が議員に当選しました。
10月9日に第6回臨時会が招集され、正副議長選挙があり、議長に横田正敏氏（新任）、副議長に安藤雅朗氏（新任）が選出されました。



議　長　横田　正敏（60歳）　当選４回
副議長　安藤　雅朗（37歳）　当選２回

議長就任あいさつ

五ノ井義一前議長、栗城康太郎議員2名の議員辞職もあった議員補欠選挙（欠員3名）により、2名の新人議員が誕生し、臨時議会において、私が議会議長（第22代目）に就任いたしました。町民皆様方のご指導とご協力をお願い申し上げます。

当議会（定員8名、欠員1名）は、当選1回議員3名、当選2回議員3名となり、議員の平均年齢が52歳と若返りました。新町長と共に町の諸課題解決、町民の安全・安心な生活環境づくりなど町民が安心して住み続けられるよう、議員7名の力を結集し全力で邁進してまいります。また、町民への情報発信を進めながら「開かれた議会」を目指してまいります。

（金山町議会議長　横田正敏）

◆新議員の顔ぶれ

2番



井草葉子（いぐさようこ）
大志・60歳
無所属・初当選

この度の補欠選挙で議員になりました井草葉子です。皆様の声を聞き、町政に反映すると共に多くの方に金山を知っていただけるよう精一杯、働きます。この人が議員になって良かったと思っていただけるよう誠意を持って活動しますので、よろしくお願いします。

7番



目黒浩（めぐろひろし）
本名・63歳
無所属・初当選

金山町の未来をより良いものにするためには、町民の皆様、役場職員の皆様、町議会議員がそれぞれの立場を越えて三者一体となって取り組むことが重要だと考えます。

現場に足を運び、汗をかき、地域の皆様と一緒に考え、行動する議員を目指します。生まれ育った金山町への恩返しを、具体的な行動で示します。

◆議員辞職

9月17日、2名の議員が辞職しました。



五ノ井　義一
・平成18年10月1日～
　6期（19年11月）
・議会議長
　令和元年12月23日～
・両沼地方町村議会議長会会長
　令和5年5月12日～
　令和8年4月10日



栗城　康太郎
・平成27年12月22日～
　3期（10年8月）
・会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員
　令和元年12月23日～

窓

挑戦する町に

人口減少が極めて深刻な速度で進んでいます。これまでうまくいった事を続けているだけでは、うまくいかない世の中になってきています。町の一番の課題は担い手不足

事業、経営の原点は継続することだと思っています。

継続できる策はないか町全体で考えることはできないでしょうか。

全ての政策を若者定住に結び付けることはできないでしょうか。

いまこそ新しいことに挑戦することが求められます。失敗をおそれてはいけない、「失敗」と書いて「せいちょう」と読むという教えもあります。どうして失敗したのか、どうすればうまくいくのかと真剣になることが大切です。

町民や事業者や町職員の挑戦を応援し、若者が稼げる、挑戦する町にしたい。

孔子も次のように説いています。

子曰く、

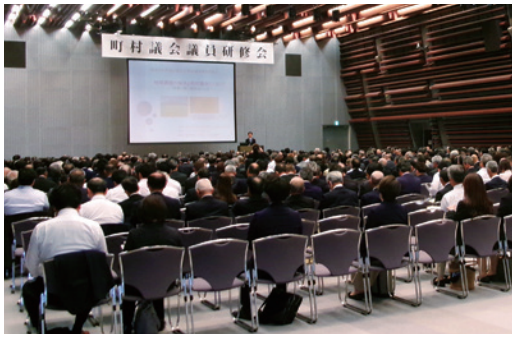
後生畏るべし、焉んぞ来者の今に如かざるを知らんや

（こうせいおそるべし、いずくんぞらいしゃのいまにしかざるをしらんや）

（横田正敏）

町村議会議員研修会

10月19日、郡山市ビックパレットで開催されました。県内48町村570名の議会議員、議会事務局職員が参加しました。「地域課題の解決と町村議会―なり手確保を視野に入れて」等の内容で大変有意義な研修となりました。



研修会の様子

ごあんない

次回の定例会は、１２月４日ごろ開会の予定です。
一般質問は１２月７日ごろからとなります。
「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。
○役場１階の受付で「傍聴券」を受け取り
　４階の議場においで下さい。

次回、金山町議会だより第２３６号は、２月中旬ごろ発行の予定です。

〔発行責任者〕
議長　横田　正敏
〔編集委員〕
委員長　安藤　雅朗
副委員長　井草　葉子
委員　坂内　譲
〃　大竹　一樹